



### 多様な人材の活躍

企業と連携し、高校生のキャリア形成支援や理工系人材の確保に取り組むとともに、女性の活躍を広げるため、現行のミモザ企業認定制度に、より取り組みやすい「フレッシュミモザ企業」を導入します。

### ヤングケアラー・ケアリーバーへの支援充実

支援マニュアルの作成や研修の実施を通して、市町のヤングケアラー※1支援窓口の設置を後押し。また、ケアリーバー※2の専門相談窓口の開設や彼らを応援する企業の認定制度の創設など、課題を抱える若者を社会全体で支えます。

※1：家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども  
※2：児童養護施設や里親などの社会的養護のケアから離れた子ども・若者

### 民間住宅への入居促進

阪神間において子育て住宅促進区域を指定し、市町と連携して住宅取得等を重点的に支援。また、県外から阪神間への住み替えを支援します。



LDK化などの子育て世帯向け改修を施した県営住宅。

### 県営住宅の供給・入居支援

LDK化やシステムバス設置等のグレードアップ改修を実施するなど、子育て世帯向け県営住宅を3年間で510戸増加。また、子育て世帯の敷金免除や奨学金返済者優先枠の新設を行います。

### ユニバーサルツーリズムの推進

「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言施設が行うバリアフリー改修を支援するほか、地域を挙げてユニバーサルツーリズムに取り組む観光地を「ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア」に指定し、地域ぐるみの取り組みをモデル的に支援します。



年齢や障害の有無等にかかわらず気兼ねなく旅行できるユニバーサルツーリズムを推進。

### 芸術文化の振興

美術館や博物館を無料開放する「ひょうごプレミアム芸術デー」をさらに充実。障害のある人や子育て世帯に配慮した取り組みに加え、新たにナイト・ミュージアムや子ども学芸員体験なども取り入れます。



手話通訳付きの展示解説会などを実施。

## III 安全安心に包まれる兵庫

阪神・淡路大震災の経験や教訓を生かし、能登半島地震の被災地支援やウクライナ復興支援、南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しを行うほか、通学路の安全対策や犯罪被害者等への支援などを通して、誰もが安全に安心して暮らせる社会をつくりまします。

### 阪神・淡路大震災 30年事業

震災を「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」「繋ぐ」の5つをテーマに事業を展開します。

### ウクライナ復興支援

被災者の心のケアができる人材や、義肢装具を使用したリハビリ訓練等ができる人材の育成に取り組みまします。

### 通学路の安全対策

地域の関係機関と連携した安全対策と併せ、ハード面の対策として通学路の歩道整備を進めます。また、死傷者数が増加傾向にある横断歩道での事故等を防ぐため、消えかかった横断歩道やセンターラインを引き直します。



「横断歩道等安全対策プロジェクト」として、横断歩道等の引き直しを早急に進め、県民の安全・安心を守る取り組みを推進(写真は姫路市広畑地区での横断歩道視察の様子)。

### 能登半島地震への支援



被災者の生活再建に向け職員を派遣(写真は石川県珠洲市での家屋被害認定調査)。

現地連絡員、保健師、建築・土木職員などを派遣し、現地ニーズに応じた支援を実施するほか、被災者に対し県営住宅を提供します。また、ボランティア団体等が現地に赴く交通費や宿泊費を一部負担します。

### SNSによる 誹謗中傷等の抑止

インターネット上の人権侵害の抑止や情報リテラシーの向上を図るため、SNSによる誹謗中傷や差別的な書き込み等を抑止する条例の制定を検討するとともに、専門職員による被害者相談やモニタリングなどを実施します。

インターネット上の  
誹謗中傷や差別に悩む人の  
相談窓口

078-891-7877

月曜～金曜  
(祝休日・年末年始を除く)  
9時～17時

木曜15時～17時は弁護士が対応。

### 特殊詐欺対策

犯人からのアプローチが最も多い固定電話対策として、自動録音機能付き電話機の購入支援を継続。また、県警や市町と連携して講習会やキャンペーンを実施し、普及啓発にも取り組みまします。

## IV 県政改革の推進

県民との情報共有を徹底し、改革を着実に実行します。新たな収入確保策として寄付獲得に向けた取り組みを実施。また、本庁舎再編に向け、3号館や生田庁舎のオープンオフィス化を進めます。

### 県民生活向上に向け 必要となる業務改善

利用者の利便性向上と職員の業務効率化を図るため、現金や収入証紙を収納している窓口にかッシュレス端末を設置します。また、公立高校等にインターネット出願・決済システムを導入します。



キャッシュレス端末は38カ所59台を設置予定。

### さらなる“攻め”の ファンドレイジング (寄付獲得)

旅行クーポンなどの魅力的な返礼品の拡充に努め、積極的な営業活動を展開します。ネーミングライツは、対象施設への命名権に加え、事業者からの企画提案型や県主催イベントの冠スポンサー枠を新設します。